

イ 高次の都市機能の集積・強化

Point

南海トラフ地震への備え

- ・30年以内に70%程度の確率で発生が予想されている南海トラフ地震への対応。
⇒**災害時の医療確保**が必要。

Point

高次の学習・体験の機会の提供

- ⇒現代社会の諸課題について科学的に思考・判断する力を育むため、**高次の学習・体験の機会の提供**が必要。

災害時の医療確保

柱となる事業

新高知赤十字病院への支援

南海トラフ地震発生時の災害拠点病院として、津波長期浸水エリアから長期浸水エリア外に移転予定の高知赤十字病院への支援により、災害時医療体制を確保。地域の拠点病院の被災時においては、同病院が支援を行うことで、圏域全体に効果を波及させるとともに、平時においては高度な救急医療の確保を図る。



高次の学習・体験の機会の提供

今後、検討を行う事業

高知みらい科学館機能の強化

県内唯一の科学館である「高知みらい科学館」の機能を活用し、圏域全体の学校等を対象とした理科学習や科学体験に関する事業の充実及び質の向上を図る。



ウ 圏域全体の生活関連機能サービスの向上

Point

圏域をリードする人材の育成

- ⇒連携により各種分野の**人材育成**が必要。



Point

未来の圏域を担う子ども達への支援

- ⇒次世代を担う**子ども達と、子育て世帯への支援**が必要。



人材の育成

柱となる事業

防災リーダー育成事業

高知市で開催する防災講座を双方向の送受信システムにより、県内6ブロックのサテライト会場での同時受講を可能とし、県内の防災力向上を図る。



新規就農者の確保

圏域市町村合同での就農相談会や受入農家への助成や合同研修会の実施により、新規就農者を確保。



職員交流による連携強化と能力向上

連携市町村と高知市の交流派遣や高知市実施の研修への連携市町村からの参加により、職員の資質向上を図る。



水道事業広域実施(人材育成等)

水道事業の知識や災害対応等について、高知市が行う各種研修等の参加者を圏域に拡大し、効率的な人材育成に努める。



ウェブサイト活用による情報共有・啓発普及

連携事業の効率化を図るためのウェブサイトを活用するとともに、圏域住民に連携中枢都市圏の取組等についてPRを行う。



未来を担う子育てへの支援

子育て支援事業(ファミリー・サポート・センターの広域連携)

ファミリー・サポート・センターの市町村の枠を越えた相互利用や、高知市で行う援助会員の養成講座の対象者を圏域に拡大。

